

令和2年度 前期学校評価の集計結果について（報告）

アンケートの概要と集計結果、ならびに分析と考察です。

①アンケート結果（平成30年度～令和2年度前期比較）

※努力を要する：(2.8以下) 網掛けの部分 概ね良好：(3.2以上) 太字の部分

領域	評価項目	生徒			保護者			教員		
		H30	R元	R2	H30	R元	R2	H30	R元	R2
自ら学び考える	1 生徒は、授業に意欲的に取り組んでいる。	3.2	3.4	3.3	3.1	3.0	3.2	3.2	3.0	3.0
	2 先生方は、わかりやすい授業を工夫している。	3.3	3.4	3.5	3.0	3.0	3.0	3.1	3.3	3.4
	3 生徒は、家庭学習の習慣が身についている。	3.0	3.1	3.1	2.9	2.8	2.8	2.6	2.6	2.5
	4 生徒は、自らの将来の生き方や職業について真剣に考えている。	3.3	3.2	3.1	2.9	2.8	2.7	2.7	2.4	2.5
	5 生徒は、学校行事に仲間と協力して、積極的に取り組んでいる。	3.6	3.5	3.5	3.3	3.3	3.3	3.5	3.1	3.2
礼儀や思いやり	6 生徒は、明るいさわやかなあいさつができる。	3.3	3.3	3.4	3.0	3.1	3.0	2.7	2.5	2.5
	7 生徒は、場や相手に応じた言葉遣いを正しく身につけている。	3.2	3.3	3.2	3.1	3.0	3.1	2.9	2.6	2.8
	8 生徒は、好ましい友達関係ができており、楽しく登校している。	3.5	3.5	3.5	3.2	3.3	3.4	2.9	2.9	3.0
	9 生徒は、学校や社会のルールを守っている。	3.4	3.3	3.2	3.2	3.3	3.3	2.9	2.8	2.7
	10 生徒は、周囲への感謝の心が育っている。	3.4	3.4	3.4	2.9	3.0	3.0	2.6	2.5	2.4
	11 学校は、人権教育が推進され、いじめや差別をなくす教育がなされている。	3.4	3.3	3.3	2.9	3.0	3.2	3.3	2.8	3.1
	12 生徒は、専門委員会等の生徒会活動に意欲的に取り組んでいる。	3.5	3.6	3.5	3.2	3.2	3.2	3.3	2.5	3.1
心身健康	13 生徒は、部活動に目標を持って、意欲的に取り組んでいる。	3.6	3.6	3.7	3.2	3.3	3.3	3.1	3.1	3.2
	14 先生は、生徒の悩みについて、迅速で適切な相談に努めている。	3.0	3.3	3.3	2.9	3.1	3.1	3.1	3.1	3.5
	15 生徒は、給食をおいしくいただけていて、残すことはない。	3.3	3.4	3.2	3.3	3.5	3.4	3.4	3.1	3.1
学校運営	16 学校は、清掃が行き届き、清潔である。	3.0	3.1	3.2	3.1	3.1	3.2	2.8	2.3	2.7
	17 学校は、安全面や環境整備に気を配っている。	3.3	3.4	3.4	3.3	3.2	3.3	3.2	3.3	3.4
	18 学校は、掲示物が充実しいろんな情報がわかりやすい。	3.3	3.3	3.5	3.2	3.2	3.3	3.2	2.9	3.5
	19 学校は、学校・学級だよりやホームページ等で、積極的に情報提供している。	3.4	3.4	3.6	3.1	3.4	3.5	3.3	3.3	3.9
	20 学校の指導方針に共感でき、特色ある教育活動に満足している。	3.1	3.2	3.4	3.0	3.1	3.2	2.9	2.9	3.4

分析と考察

全体的に「概ね良好」の評価だった項目

領域 5…「生徒は、学校行事に仲間と協力して、積極的に取り組んでいる。」

領域 13…「生徒は、部活動に目標を持って、意欲的に取り組んでいる。」

領域 17…「学校は、安全面や環境整備に気を配っている。」

領域 18…「学校は、掲示物が充実しいろんな情報がわかりやすい。」

領域 19…「学校は、学校・学級だよりやホームページ等で、積極的に情報提供している。」

領域 20…「学校の指導方針に共感でき、特色ある教育活動に満足している。」

「努力を要する」項目

領域 3…「生徒は、家庭学習の習慣が身についている。」

領域 4…「生徒は、自らの将来の生き方や職業について真剣に考えている。」

評価に差が見られた項目

領域 4…「生徒は、自らの将来の生き方や職業について真剣に考えている。」

生徒の評価…3.1 保護者の評価…2.7 教員の評価…2.5

領域 6…「生徒は、明るいさわやかなあいさつができる。」

生徒の評価…3.4 保護者の評価…3.0 教員の評価…2.5

領域 7…「生徒は、場や相手に応じた言葉遣いを正しく身に付けている。」

生徒の評価…3.2 保護者の評価…3.1 教員の評価…2.8

領域 9…「生徒は、学校や社会のルールを守っている。」

生徒の評価…3.2 保護者の評価…3.3 教員の評価…2.7

領域 10…「生徒は、周囲への感謝の心が育っている。」

生徒の評価…3.4 保護者の評価…3.0 教員の評価…2.4

領域 16…「学校は、清掃が行き届き、清潔である。」

生徒の評価…3.2 保護者の評価…3.2 教員の評価…2.7

全体的な考察

- 過去2年間と比較しても、学校行事や部活動に積極的に取り組んでいる。
- 生徒会活動の活性化が見られている。
- 学校運営において、環境整備や掲示物の充実、学校だよりやホームページなど情報発信については高い評価を得ている。
- 生徒評価では、すべての項目で3.1以上の高得点となっている。
- 努力を要する項目として、「家庭学習の習慣化」があげられる。昨年度からの課題であったが、残念ながら改善できていないのが現状である。家庭学習習慣の定着に向け、家庭と連携しながら継続して取り組んでいく必要がある。

- 評価に差が見られた項目が、6項目で目立った。特に生徒と教員の評価結果に開きが見られているのが「生徒は、自らの将来の生き方や職業について真剣に考えている」、「生徒は、明るいさわやかなあいさつができる」、「生徒は周囲への感謝の心が育っている」という項目であった。生徒自身の捉えと教員側の求める姿に差があるためと考察される。生徒自身の日頃の生活面についてある程度の評価を与えながら、さらに充実させていくための助言・指導が必要になってくると思われる。

- 教員の評価では7項目が2.8以下となった。改善が見られている項目もあるが、特に低い評価となった「生徒は、家庭学習の習慣が身についている」「生徒は、自らの将来の生き方や職業について真剣に考えている」「生徒は周囲への感謝の心が育っている」については、最重要課題と捉え、生徒会活動を生かしながら、教員で共通理解を図り、目に見える形での改善へとつなげていく。